

科目名		経営組織論Ⅱ (Organizational Theory Ⅱ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	後期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】根岸 可奈子, 松野 成悟							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)組織論における基礎事項を理解することができる。 (2)企業間関係の理論と特徴を説明できる。 (3)企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができる。								
学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)		(d)-(4)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	経営組織論Ⅰ								
教科書	使用しない								
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	競争と協調	・競争環境下における協調行動の進化や「対話」、デファクト・スタンダードについて理解できる。	適宜指示する。
3	アーキテクチャと製品開発	・製品開発における組織について、ユーザー、プロデューサー、ゲートキーパーといった主体が担う役割を理解できる。	適宜指示する。
4	トランスナショナル企業と組織文化	・企業が国際的な展開をみせる場合、組織もこれに伴い変化する。その過程と特徴を理解できる。	適宜指示する。
5	ドミナント・ロジックと個体群生態学	・当該組織専門の成功のロジックであるドミナント・ロジックとは何かを理解するとともに、企業組織の「淘汰」に関し理解する。	適宜指示する。
6	知識連鎖とクラスター	・組織学習を主目的とした知識連鎖やクラスターについて、理解する。	適宜指示する。
7	システムとしての組織	・近代組織論を軸に、組織や環境について理解する。	適宜指示する。
8	中 間 試 験		
9	企業間アライアンス	・さまざまな業務・資本提携の形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
10	M&A①	・M&Aの形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
11	M&A②	・代表的なM&Aの方法とその防衛策を理解できる。	適宜指示する。
12	企業間関係の管理	・企業間関係を分析する枠組みとして取引費用理論を理解できる。	適宜指示する。
13	アウトソーシング①	・アウトソーシングの一般的な形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
14	アウトソーシング②	・情報システムのアウトソーシングの今日的な特徴と課題を理解できる。	適宜指示する。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			25 時間
自 学 自 習			20 時間